

## コバトンマラソンの経済波及効果 ～イベントツールの利用例～

マラソン大会などのイベントの経済波及効果は、どのように計算されているのでしょうか。経済波及効果分析ツール（イベント版）を使って、「コバトンマラソン（架空の大会です）がもたらす埼玉県への経済波及効果」を計算してみましょう。



埼玉県マスコット「コバトン」

イベントの経済波及効果は、「1 イベント参加者の消費による経済波及効果」と「2 実行委員会の開催経費による経済波及効果」の2つに分けて考えることができます。この2つについて、それぞれ経済波及効果を計算していきます。



### 1 イベント参加者の消費による経済波及効果

埼玉県マスコット「コバトン」

イベント参加者の消費による経済波及効果は、次のような計算手順で求めていきます。

#### <計算手順>

- 1 イベント参加者数の想定
- 2 参加者の消費内容と単価（購入者のみ）の想定
- 3 非購入者も含めた参加者1人あたり消費単価の計算
- 4 その消費は県内産？県外産？～「自給率」の設定～
- 5 分析ツールへの入力

#### <手順1-1> イベント参加者数の想定

まず大切なのは、イベント参加者であるランナーと観戦者の人数を想定することです。各地で開催されているマラソン大会の集客状況を調べるなどして、過大な想定にならないようにします。

また、その参加者がどこから来るのか（県内か県外か）、日帰り者と宿泊者の割合などを想定する必要があります。

宿泊者数を想定する時は、イベント会場の周辺のホテル・旅館の収容人数も把握し、その宿泊者数が妥当であるか確認しておくといと思います。

表 1 - 1 参加者数の想定

参加者	人数	県内か県外か、日帰りか宿泊か
ランナー	1万人	うち県内から9千人、県外から1千人。 県外参加者のうち、100人が近隣ホテル・旅館に1泊したとする。
観戦者	7万人	うち県内から6万5千人、県外から5千人。 県外観客のうち、500人が近隣ホテル・旅館に1泊したとする。
参加者合計	8万人	うち県内から7万4千人、県外から6千人。 近隣ホテル・旅館の宿泊者(1泊)は600人。 (つまり日帰り者は79,400人) 参加者は全て大人とする。

<手順 1 - 2>参加者の消費内容と単価（購入者のみ）の想定

次に、表 1 - 2 のように、参加者がどのような消費を行い、その単価がいくらになるのか想定します。主な項目として、「交通費」「宿泊費」「会場周辺での飲食費」「土産代」「レジャー代」が挙げられます。

今回は、日帰り者と宿泊者の単価は同じとしましたが、異なると想定した場合は、単価も2通り想定する必要があります。（注意：宿泊費は、宿泊者のみの消費項目となります。）

項目の中で想定が最も困難なのは「交通費」です。鉄道・自家用車などの交通手段ごとに人数や単価を想定しなければなりません。計算した経済波及効果が過大であると言われないよう、交通費を除くという選択もあるでしょう。

なお、**交通費の推計対象となるのは県内交通にかかった部分のみ**となります。例えば県外からのランナーが飛行機を利用したとしても、その消費は埼玉県に落ちません。したがって、ここでは県内・県外にかかわらず参加者の鉄道単価は1000円としました。

また、分析ツールでは観光庁「旅行・観光消費動向調査」から求めた全国平均値も表示していますので、想定の参考にしてください。この全国平均値のチェックボタンをクリックしてそのまま使用することもできます。

表 1-2 参加者の消費内容と単価（購入者のみ）

項目	想定内容
交通費	県内参加者：自家用車が7万人、鉄道が4千人。 県外参加者：6千人全て鉄道。 自家用車利用者の単価：想定困難のため0とする。 鉄道利用者の単価：1000円。
宿泊費	近隣ホテル・旅館の宿泊単価は、1万円。
会場周辺での飲食費	4万人：会場周辺の飲食店を利用し、単価は1000円。 2万人：会場周辺で弁当等を購入し、単価は500円。 6万人：会場周辺で飲み物を購入し、単価は1000円。
土産代	3万人：会場周辺で販売予定の埼玉県産の野菜・果物を購入。 単価は400円。
レジャー代	1万人：会場近くの日帰り入浴「コバトンの湯」を利用。 利用料600円。

※ 宿泊費以外の費目について日帰り者・宿泊者の単価は同じと想定した。

<手順 1-3> 非購入者も含めた参加者 1人あたり消費単価の計算

分析ツールは、宿泊費を除く項目を「非購入者も含めた1人あたり消費単価」で入力するしくみになっています。このため、手順 1-2 で求めた単価を「非購入者も含めた1人あたり単価」に計算し直す必要があります。

**この計算を忘れると、全く異なる結果になってしまいますので、注意してください。**

表 1-3 非購入者も含めた1人あたり単価

項目	内容	a 購入者数 (人)	b 購入者 単価(円)	c 購入額 a×b(円)	d 参加者数 (人)	e 非購入者も含め た単価 c/d(円)
交通費	鉄道	10,000	1,000	10,000,000	80,000	125
	自家用車	70,000	0	0	80,000	0
飲食費	飲食店	40,000	1,000	40,000,000	80,000	500
	弁当等	20,000	500	10,000,000	80,000	125
	飲み物	60,000	100	6,000,000	80,000	75
土産代	野菜・果物	30,000	400	12,000,000	80,000	150
レジャー代	立寄温泉	10,000	600	6,000,000	80,000	75
宿泊費(※)		600	10,000	6,000,000	-	-
合計				90,000,000	-	-

※宿泊費は、購入者のみの単価で入力する。

<手順 1-4> その消費は県内産？ 県外産？ ～「自給率」の設定～

**埼玉県への経済波及効果をもたらすのは、埼玉県内で生産されるモノ・サービスを消費した場合です。コバトンマラソンの会場で、他県で生産された品物を県内の小売業者から購入しても、埼玉県への経済波及効果は生じません。（ただし、県内の小売業者のマージン分（販売額－仕入額）は、経済波及効果の対象となります。）**

産業連関表を用いた経済波及効果分析で「自給率」というのは「県内での調達割合」のことです。イベント参加者が消費したモノ・サービスが埼玉県内産であれば自給率100%、県外産であれば自給率0%ということになります。

では、どこの地域で生産されたのか分からない場合はどうしたらよいでしょう。例えば会場で販売される「飲み物」。「飲み物」といってもミネラルウォーター、缶ジュース、ペットボトルのお茶など様々あり、どこで生産されたかなんて分かりません。このような場合のために、分析ツールには「自給率の初期値」という欄があります。ここに設定されている数字は、埼玉県産業連関表から計算された「自給率」です。購入者が消費するモノ・サービスが県内産か県外産か不明な場合は、この初期値を利用してください。

コバトンマラソンでの消費内容が県内産か県外産かを整理すると、表1-4のようになります。

表1-4 県内産か県外産か

項目（内容）	県内産か県外産か	理由
交通費（鉄道）	県内 （自給率100%）	県内交通にかかった分のみ積算している
飲食費（飲食店）	県内 （自給率100%）	県内で生産されるサービスである
飲食費（弁当等）	不明	販売される弁当等の生産地は分からない
飲食費（飲み物）	不明	販売される飲み物の生産地は分からない
土産代（野菜・果物）	県内 （自給率100%）	埼玉県産の野菜・果物と想定している
レジャー代（立寄温泉）	県内 （自給率100%）	県内で生産されるサービスである
宿泊費	県内 （自給率100%）	県内で生産されるサービスである

#### <手順1-5>分析ツールへの入力

ここまでで求めた「表1-3 非購入者も含めた1人あたり単価」と「表1-4 県内産か県外産か」を分析ツールの「入力消費」シートに入力すれば、経済波及効果が計算されます。

- ① 「入力消費」シートを開いてタイトルを入力します。（以下、入力部分は赤字にしています。）

	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	
						消費額の入力	操作説明	入力消費	入力開催	定義	報告書	flow
1												
2												
3												
4						■ 分析のタイトルを入力してください。						
5											コバトンマラソンの経済波及効果	

② 日帰り参加者・宿泊参加者の人数を入力します。

単位：人

区 分		人数	
①	日帰り参加者の人数	79400	
②	宿泊参加者の人数	1泊	600
		2泊	
		3泊	
		4泊	
		5泊	
		6泊	
		7泊	
	計	600	
		平均宿泊数	↓
			1.0000

③ 表 1-3 をもとに日帰り者の 1 人当たり消費額（非購入者を含む単価）を入力します。

また、表 1-4 をもとに自給率を修正します。今回は農産物（野菜・果物・花）の自給率を 100% に修正します。

単位：円                      単位：%                      単位：円

【日帰り】	③ 一人当たり消費額(非購入者分含む)				消費額		⑤ 自給率		消費額 (直接効果)
	区分	品目	全国平均	一人当入力	一人当消費	一人当×人数	初期値	自給率修正	県内分
交通費		旅行会社収入	68	<input type="checkbox"/>	0	0	100.0%		0
		新幹線	1,505	<input type="checkbox"/>	0	0	100.0%		0
		鉄道・モノレール	586	<input type="checkbox"/>	125	9,925,000	100.0%		9,925,000
		バス	493	<input type="checkbox"/>	0	0	100.0%		0
		タクシー・ハイヤー	110	<input type="checkbox"/>	0	0	100.0%		0
		レンタカー・カーシェアリ	162	<input type="checkbox"/>	0	0	100.0%		0
		ガソリン	1,759	<input type="checkbox"/>	0	0	0.0%		0
		駐車場・有料道路料金	1,547	<input type="checkbox"/>	0	0	100.0%		0
飲食費・ 買物代		飲食店における食事・飲酒	2,179	<input type="checkbox"/>	500	39,700,000	100.0%		39,700,000
		農産物（野菜・果物・花）	302	<input type="checkbox"/>	150	11,910,000	20.7%	100.0%	11,910,000
		水産物（鮮魚・貝類）	234	<input type="checkbox"/>	0	0	0.8%		0
		菓子類	577	<input type="checkbox"/>	0	0	16.2%		0
		飲料・酒	183	<input type="checkbox"/>	75	5,955,000	8.7%		5,955,000
		お弁当、食料品	252	<input type="checkbox"/>	125	9,925,000	16.2%		1,605,129
		衣類・帽子・ハンカチなど	370	<input type="checkbox"/>	0	0	4.7%		0
		靴・かばんなど皮革製品	120	<input type="checkbox"/>	0	0	3.8%		0
		陶磁器	25	<input type="checkbox"/>	0	0	2.2%		0
		ガラス製品	19	<input type="checkbox"/>	0	0	10.3%		0
		医薬品	9	<input type="checkbox"/>	0	0	22.3%		0
		化粧品・歯磨・シャンプー	24	<input type="checkbox"/>	0	0	16.2%		0
		写真フィルム	3	<input type="checkbox"/>	0	0	16.2%		0
	その他の買物代	1,308	<input type="checkbox"/>	0	0	11.0%		0	
区分	品目	全国平均	一人当入力	一人当消費	一人当×人数	初期値	自給率修正	県内分	
	温泉・温浴施設・エステ・	213	<input type="checkbox"/>	75	5,955,000	100.0%		5,955,000	
	テーマパーク・遊園地	523	<input type="checkbox"/>	0	0	100.0%		0	

④ 同様に宿泊者について入力します。

		単位:円				単位:%		単位:円	
【宿泊】	④ 一人当たり消費額（非購入者分含む）				消費額		⑤ 自給率		消費額 (直接効果)
区分	品目	全国平均1/2	一人当入力	一人当消費	一人当×人数×泊数	初期値	自給率修正	県内分	
交通費	旅行会社収入	98		0	0	16.2%		0	
	新幹線	798		0	0	100.0%		0	
	鉄道・モノレール	258	125	125	75,000	100.0%		75,000	
	バス	141		0	0	100.0%		0	
	タクシー・ハイヤー	71		0	0	100.0%		0	
	レンタカー・カーシェアリ	203		0	0	100.0%		0	
	ガソリン	526		0	0	0.0%		0	
	駐車場・有料道路料金	533		0	0	100.0%		0	
飲食費・買物代	飲食店における食事・飲酒	2,923	500	500	300,000	100.0%		300,000	
	農産物（野菜・果物・花）	140	150	150	90,000	20.7%	100.0%	90,000	
	水産物（鮮魚・貝類）	156		0	0	0.8%		0	
	菓子類	540		0	0	16.2%		0	
	飲料・酒	159	75	75	45,000	8.7%		3,929	
	お弁当、食料品	219	125	125	75,000	16.2%		12,129	
	衣類・帽子・ハンカチなど	252		0	0	4.7%		0	
	靴・かばんなど皮革製品	73		0	0	3.8%		0	
	陶磁器	23		0	0	2.2%		0	
	ガラス製品	17		0	0	10.3%		0	
	医薬品	11		0	0	22.3%		0	
	化粧品・歯磨・シャンプー	30		0	0	16.2%		0	
	写真フィルム	2		0	0	16.2%		0	
その他の買物代	1,160		0	0	11.0%		0		
区分	品目	全国平均	一人当入力	一人当消費	一人当×人数×泊数	初期値	自給率修正	県内分	
	温泉・温浴施設・エステ・	191	75	75	45,000	100.0%		45,000	
	テーマパーク・遊園地	338		0	0	100.0%		0	

⑤ 宿泊費単価を入力します。（宿泊費は購入者のみの単価で入力します。）

宿泊費	宿泊費	5,644	10,000	10,000	6,000,000	100.0%		6,000,000
-----	-----	-------	--------	--------	-----------	--------	--	-----------

以上で「イベント参加者の消費」に関する入力は終了です。



## 2 実行委員会の開催経費による経済波及効果

実行委員会の開催経費による経済波及効果は、次のような計算手順で求めていきます。

### <計算手順>

- 1 予算書（または決算書）の用意と県内・県外の確認
- 2 分析ツールへの入力

### <手順2-1> 予算書（または決算書）の用意と県内・県外の確認

まず、コバトンマラソンの予算書（または決算書）を用意します。経済波及効果は支出内容が明確であるほうがより現実に近い形で計算できるため、決算書がある段階なら決算書を用いて計算します。また、予算段階では「事務用品」として一括りにされていたものも決算段階で具体的に購入した品物が明らかであれば、それぞれ分けて計算します。

ここでは予算の段階で経済波及効果を計算するものとして、予算書を用意しました（架空のものです）。そして、表2-1のように、それぞれの項目が県内産か県外産かを整理しました。

前述したように、県内小売業者から購入予定だとしても品物の生産地が不明であれば、不明とします。

表2-1 コバトンマラソン予算書

区分	予算額 (千円)	予算額内訳 (千円)	内訳	県内・県外
賃金	900	900	アルバイト代	県内在住者のため県内
報償費	740	240	実行委員への謝金	全員県内在住委員のため県内
		500	救護所設置(医師等への報償費)	県内医療機関に依頼するため県内
旅費	300	150	実行委員会議等旅費	県内
		150	実行委員大会前日宿泊料	県内
需要費(食糧費)	170	50	実行委員会議用お茶代	不明
		120	実行委員 当日弁当代	不明
需要費(消耗品費)	750	250	入賞者記念品(カップ)	県内
		100	横断幕	県内業者に発注するため県内
		200	スタッフジャンパー	不明
		30	ゼッケン	不明
		20	救急用品	不明
		150	事務用品(文房具等)	不明
需要費(印刷製本費)	320	100	大会PRポスター	県内業者に発注するため県内
		120	プログラム等印刷	県内業者に発注するため県内
		100	表彰状印刷	県内業者に発注するため県内
役務費(通信運搬費)	200	100	切手代	県内で購入するため県内
		100	電話料	県内業者に支払うため県内
役務費(広告料)	700	700	参加者募集広告	県内業者に発注するため県内
役務費(手数料)	50	50	金融機関口座振込手数料	県内金融機関を利用するため県内
役務費(筆耕料)	100	100	表彰状筆耕料	県内業者に発注するため県内
役務費(保険料)	600	600	参加者等保険料	県内業者に発注するため県内
委託料	2,000	2,000	警備等委託料	県内業者に発注するため県内
使用料・賃借料	3,150	1,200	競技会場使用料	県内
		350	バス借上げ料	県内業者に発注するため県内
		50	実行委員会議室使用料	県内業者に発注するため県内
		150	複合機レンタル料	県内業者に発注するため県内
		100	パソコンリース料	県内業者に発注するため県内
		800	トイレ・テントレンタル料	県内業者に発注するため県内
公課費	20	500	音響機器レンタル料	県内業者に発注するため県内
		20	道路許可申請	県内
合計	10,000			

## <手順2-2>分析ツールへの入力

予算書の内容を分析ツールの「入力開催」シートに入力していきます。

入力が必要なのは、歳出科目、経費、自給率修正、産業連関表Code(部門)のところ です。歳出科目にはあらかじめイベント開催経費としてよく見られる項目が例示されています。そして、それに対応する産業連関表Code・部門名と自給率が表示されているので、それを利用しながら入力します。



埼玉県マスコット  
「コバトン」

### 産業連関表Code・部門名とは

産業連関表は、経済を構成する各産業間や家計の取引状況をまとめた表です。各産業は生産活動単位で分類され、Code番号と部門名が付されています。

経済波及効果分析ツール（イベント版）は産業を107の部門に分けた産業連関表を用いて波及効果を計算し、イベントがどの産業部門の生産を誘発するのかを分析するものです。

開催経費の各項目をどの産業部門に割り振るかによって経済波及効果の大きさは変わりますので、産業連関表Codeの入力は慎重に・・・。

例示にない項目の産業連関表Codeは、「定義」シートで調べます。例えば、需用費（消耗品費）にある入賞者記念品（カップ）について調べると「Code 253 陶磁器」が最も当てはまりそうな部門ですので、これを使うことにします。

部門分類の定		操作説明	入力消	入力開	定義	報告書	flow	消費波及	開催波及	DATA	係数	マージン
大分類 産業・土石製品	統合中分類（107部門）		統合小分類（187部門）		製品・産業（例示）							
	Code	部門名										
	251	ガラス・ガラス製品	ガラス・ガラス製品		板ガラス、安全ガラス、複層ガラス ガラス短繊維フェルト、ガラス短繊維ボード、ガラス長繊維ローピング、光ファイバ（素線） カーミラー、自動車ガラス、鏡、フラスコ、ピーカー、試験管、薬瓶、シリンダ、シャーレ、花瓶、金魚鉢、灰皿、文鎮、グラス、醤油差し、果物皿、紅茶ポット、レンズ、信号用ガラス、タイル、風鈴、ネームプレート							
	252	セメント・セメント製品	セメント・セメント製品		セメント 生コンクリート 電柱、杭、雨水ます、漁礁、水槽、タイル風呂、マンホールふた、板、浄化槽、テトラポッド、とうろう、土台、橋げた、まくら木、U字溝、遠心力鉄筋コンクリート管、ヒューム管、積ブロック、法止めブロック、ボックスカルバート、L字溝、点字ブロック、人造大理石、煙突、石綿スレートかわら、セメントかわら							
253	陶磁器	陶磁器		タイル、便器、水槽、浴槽、電気絶縁材料、管、耐熱製品、ピーカー、置物、玩具、急須、皿、コップ、食器、瀬戸物、茶碗、とっくり、土瓶、はしおぎ、種木鉢、すりばち、壺、かめ、花器、灰皿、たこつば、とうろう、湯たんば、ネームプレート、がい子								
259	その他の産業・土石製品	建設用土石製品 その他の産業・土石製品		耐火れんが、耐火モルタル、人造耐火材、石膏ボード、粘土瓦、普通れんが 電解板、炭素繊維、炭素棒、黒鉛のつば、特殊炭素製品、研磨材、ほうろう鉄器、人造宝石、ロックウール、電極、と石、研磨布紙、再生骨材、石工品、七宝製品								

さて、「入力開催」シートに戻ります。この例示を利用して入力する際に、1つ注意することがあります。それは購入する消耗品等の材質によっては例示と部門を変える必要があるということです。

例えば、ゼッケン。例示では「Code 151 繊維工業製品」となっていますが、プラスチック製のゼッケンを購入予定の場合は「Code 221 プラスチック製品」に変更する必要があります。購入予定の製品がどの産業部門の生産活動を誘発することになるのか、製品の材質に注目し、「定義」シートで確認しながら、入力していきます。

表2-1コバトンマラソン予算書の内容を「入力開催」シートに入力（入力は円単位）すると、次のページのようにになりました。

入力もれがないかを確認するため、合計金額が予算書の総額と一致しているかを確認してください。



単位:円

開催経費		自給率			開催経費 (直接効果)	産業連関表Code 統合中分類(107部門)	
節	歳出科目	①経費	初期値	②自給率修正	県内分	Code	部門名
賃金	アルバイト代	900,000	100.0%		900,000	911	雇用者所得
					0		
報償費	講演会講師謝礼金	240,000	100.0%		240,000	911	雇用者所得
	医師・看護師(緊急待機)	500,000	88.7%	100.0%	500,000	641	医療
旅費	交通費(職員)	150,000	100.0%		150,000	571	鉄道輸送
	交通費(招待選手)		100.0%		0	571	鉄道輸送
	宿泊費(職員)	150,000	100.0%		150,000	671	宿泊業
	宿泊費(招待選手)		100.0%		0	671	宿泊業
需用費	事務用品	150,000	11.0%		16,544	391	その他の製造工業製品
	記念品(カップ)	250,000	2.2%	100.0%	250,000	253	陶磁器
	スタッフ等被服	200,000	12.0%		23,967	221	プラスチック製品
	ゼッケン	30,000	5.4%		1,611	151	繊維工業製品
	手旗		12.0%		0	221	プラスチック製品
	紙コップ		40.3%		0	164	紙加工品
	救急用品・医薬品	20,000	22.3%		4,464	207	医薬品
	乾電池		2.6%		0	339	その他の電気機械
	公用車燃料代		0.0%		0	211	石油製品
	スタッフ等果物類		20.7%		0	011	耕種農業
	スタッフ等弁当代	120,000	16.2%		19,407	111	食料品
	スタッフ等飲料代	50,000	8.7%		4,365	112	飲料
	大会パンフレット・プログラム	120,000	31.4%	100.0%	120,000	191	印刷・製版・製本
	会場周辺案内図		31.4%		0	191	印刷・製版・製本
	交通規制図		31.4%		0	191	印刷・製版・製本
	ポスター	100,000	31.4%	100.0%	100,000	191	印刷・製版・製本
	参加賞(Tシャツ)		5.4%		0	151	繊維工業製品
横断幕	100,000	12.0%	100.0%	100,000	221	プラスチック製品	
カラーコーン		47.6%		0	661	物品賃貸サービス	
表彰状印刷	100,000	31.4%	100.0%	100,000	191	印刷・製版・製本	
役務費	郵便料(切手、はがき)	100,000	95.3%	100.0%	100,000	579	郵便・信書便
	宅急便代		100.0%		0	572	道路輸送(自家輸送を除く。)
	荷物運送費		100.0%		0	572	道路輸送(自家輸送を除く。)
	電信電話料	100,000	65.9%	100.0%	100,000	591	通信
	CM		18.5%		0	595	映像・音声・文字情報制作
	ホームページ作成		15.0%		0	593	情報サービス
	広告看板		11.3%		0	662	広告
	許可申請料	20,000	100.0%		20,000	611	公務
	収入印紙		100.0%		0	611	公務
	損害保険・賠償責任保険	600,000	65.2%	100.0%	600,000	531	金融・保険
	参加者募集広告	700,000	11.3%	100.0%	700,000	662	広告
金融機関口座振込手数料	50,000	65.2%	100.0%	50,000	531	金融・保険	
表彰状筆耕料	100,000	50.4%	100.0%	100,000	669	その他の対事業所サービス	
委託料	イベント業者委託料		50.4%		0	669	その他の対事業所サービス
	警備費委託料	2,000,000	50.4%	100.0%	2,000,000	669	その他の対事業所サービス
使用料 及び 賃借料	貸切バス・タクシー	350,000	100.0%		350,000	572	道路輸送(自家輸送を除く。)
	トイレ・テント等物品賃貸	800,000	47.6%	100.0%	800,000	661	物品賃貸サービス
	音響機器レンタル	500,000	47.6%	100.0%	500,000	661	物品賃貸サービス
	駐車場使用料		53.3%		0	578	運輸附帯サービス
	高速道路通行料		53.3%		0	578	運輸附帯サービス
	スポーツ施設使用料	1,200,000	69.0%	100.0%	1,200,000	674	娯楽サービス
	会議室使用料(民間)		91.1%		0	551	不動産仲介及び賃貸
	会議室使用料(文化会館)	50,000	87.9%	100.0%	50,000	659	他に分類されない会員制団体
	パソコンリース	100,000	47.6%	100.0%	100,000	661	物品賃貸サービス
	複合機レンタル料	150,000	47.6%	100.0%	150,000	661	物品賃貸サービス
工事 請負費	会場・舞台設営		50.4%		0	669	その他の対事業所サービス
	会場仮設電源工事		100.0%		0	419	その他の土木建設
	道路整備		100.0%		0	413	公共事業
備品 購入費	パソコン		2.6%		0	342	電子計算機・同附属装置
					0		
合計		10,000,000			9,500,358		



### 3 分析結果

埼玉県マスコット「コバトン」

分析結果は「報告書」シートに次のように表示されます。次のページでこの見方を説明していきます。

#### コバトンマラソンの経済波及効果

試算結果

単位：千円、倍、人

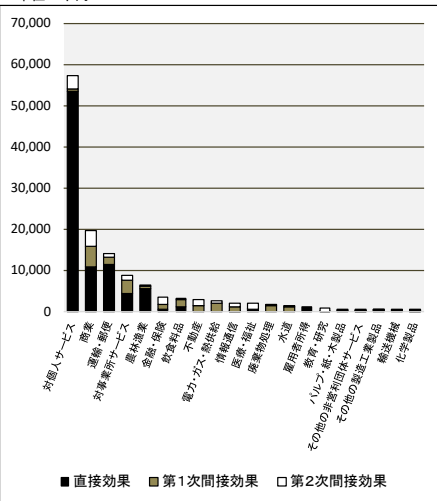
項目	最終需要 増加額	直接効果	第1次 間接効果	第2次 間接効果	総合効果	生産誘発倍率 (対最終需要)	生産誘発倍率 (対直接効果)	粗付加価値 誘発額	雇用誘発人 数
	①	②	③	④	⑤=②+③+④	⑥=⑤÷①	⑦=⑤÷②	⑧	⑨
参加者の消費	90,000	80,015	21,756	21,109	122,880	1.37	1.54	68,086	12.9
開催経費	10,000	9,686	1,860	3,254	14,799	1.48	1.53	9,839	0.9
合計	100,000	89,701	23,616	24,363	137,679	1.38	1.53	77,925	13.8

#### 波及効果上位20部門(39部門分類)

単位：千円

順位	部門名	直接効果	第1次間接効果	第2次間接効果	総合効果
1	対個人サービス	53,350	619	3,208	57,177
2	商業	10,961	4,749	3,802	19,512
3	運輸・郵便	11,415	1,648	1,067	14,130
4	対事業所サービス	4,350	3,316	1,054	8,719
5	農林漁業	5,633	615	141	6,389
6	金融・保険	650	1,172	1,694	3,516
7	飲食品	1,267	1,486	459	3,212
8	不動産	0	1,351	1,662	3,013
9	電力・ガス・熱供給	0	1,871	619	2,490
10	情報通信	100	933	873	1,906
11	医療・福祉	500	20	1,347	1,866
12	廃棄物処理	0	1,304	107	1,412
13	水道	0	1,020	353	1,372
14	雇用者所得	1,140	0	0	1,140
15	教育・研究	0	93	686	779
16	パルプ・紙・木製品	0	335	50	386
17	その他の非営利団体サービス	50	150	148	349
18	その他の製造工業製品	128	142	67	337
19	輸送機械	0	126	154	280
20	化学製品	2	141	73	216
	その他	156	2,526	6,799	9,481
	合計	89,701	23,616	24,363	137,679

単位：千円



#### イベント参加者の人数

日帰り	79400人
宿泊	600人

#### イベント参加者の消費額

単位：千円

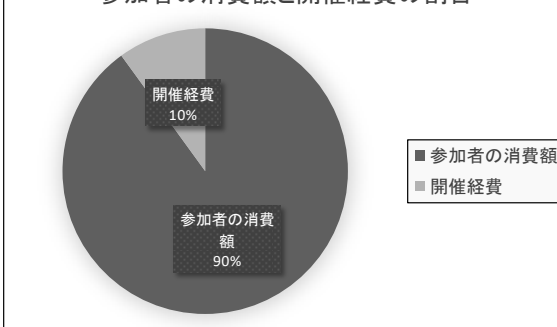
区分	日帰り	宿泊	計	うち県内分
交通費	9,925	75	10,000	10,000
飲食費・お土産代	67,490	510	68,000	54,141
イベント・娯楽施設の利用料	5,955	45	6,000	6,000
その他の旅行中の消費	0	0	0	0
宿泊費		6,000	6,000	6,000
その他	0	0	0	0
合計	83,370	6,630	90,000	76,141

#### 開催経費

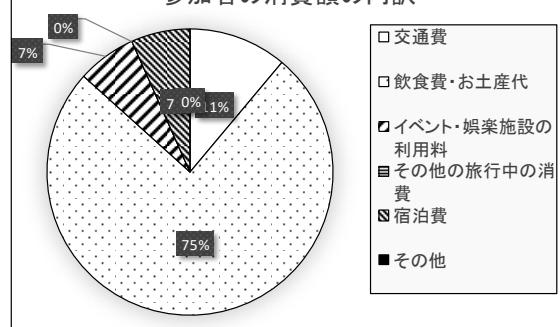
単位：千円

節	開催経費	うち県内分
賃金	900	900
報償費	740	740
旅費	300	300
需用費	1,240	740
役務費	1,670	1,670
委託料	2,000	2,000
使用料及び賃借料	3,150	3,150
工事請負費	0	0
備品購入費	0	0
合計	10,000	9,500

#### 参加者の消費額と開催経費の割合



#### 参加者の消費額の内訳



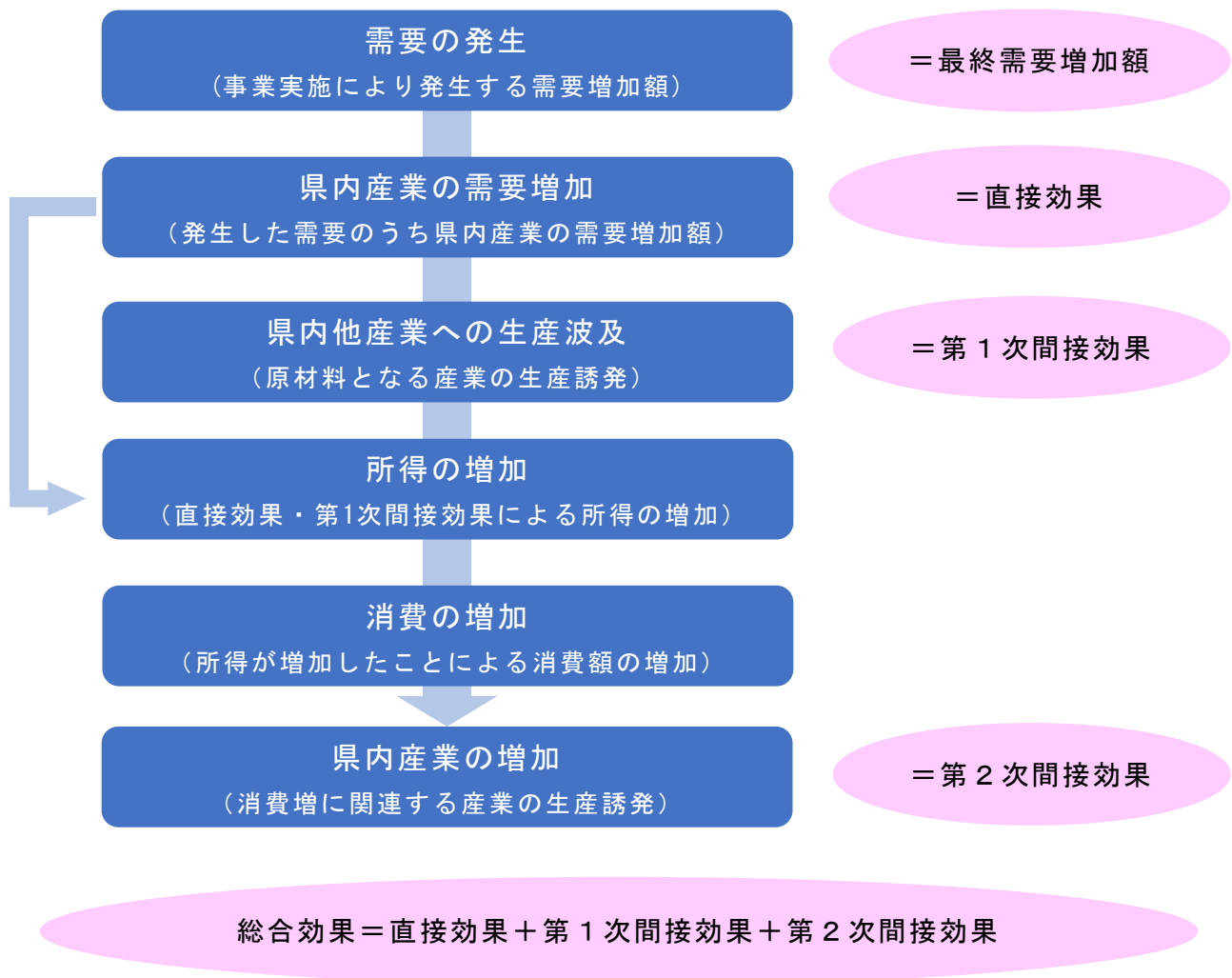
分析に利用した産業連関表と各種係数

- 埼玉県産業連関表（平成27年表） 107部門
- ・物価調整 2024年
- ・県民所得係数 0.945016
- ・消費転換係数 0.818716

注)

直接効果には、イベント参加者の消費（県内分）と開催経費（県内分）の他に、県外産の商品が県内に流通する過程で、県内の商業・運輸の生産（販売額－仕入額、運送費）に影響を与える分も含まれている。

まず「試算結果」で使われている用語の意味を理解していただくため、「経済波及効果とは何か」を図に表すと以下のようになります。



「総合効果」欄に記載された額が経済波及効果総額です。コバトンマラソンについては、「参加者の消費90,000千円・開催経費10,000千円合わせて100,000千円に対し、経済波及効果は137,679千円。誘発倍率は1.38倍。」ということになります。

「粗付加価値誘発額」は「総合効果」から原材料等の中間投入を控除した額であり、県内総生産（県GDP）に近い概念です。

「雇用誘発人数」は、産業連関表の付帯表である「雇用表」をもとに、各産業が誘発された生産を行うために投入した労働量を人数で表したものです。ただし、一時的なイベントでは時間外労働等により対応することも多いと考えられますので、あくまで理論値としてとらえてください。

次に「イベントによる波及効果上位20部門（39部門分類）」について説明します。これはこのイベントがどのような産業の生産を誘発するのかを分析するためのものです。コバトンマラソンでは39部門分類（39部門分類については「定義」シートを参照）で「対個人サービス」「商業」「運輸・郵便」といった部門への波及が大きいことが分かります。

また「不動産」「電力・ガス・熱供給」のように直接効果は0でも間接効果が発生する部門があることが分かります（原材料や消費への波及があるためです）。

以上、コバトンマラソンの経済波及効果について見てきましたが、計算手順等を知りたい場合は、「フローチャート」や「消費波及」・「開催波及」シートを参照してください。

また、産業連関表についてさらに詳しく知りたい場合は、ホームページに掲載している「[産業連関表利用の手引](#)」や「[経済波及効果とは？](#)」も御覧ください。

**Q 1.** 参加者の消費について「試算結果」にある直接効果は80,015千円ですが、「イベント参加者の消費」にある「うち県内分」は76,141千円です。どうして異なるのですか？

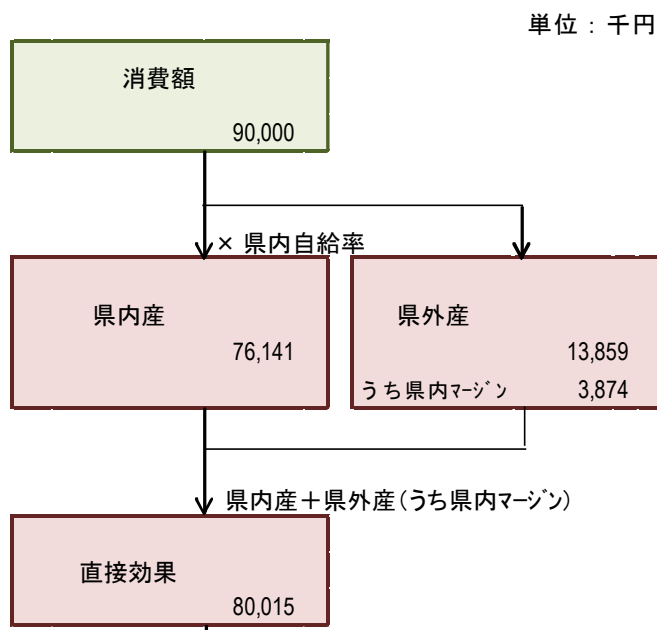
**A 1.** これは「購入者価格」を「生産者価格」に変換する計算の過程で生じています。

**「購入者価格」＝「生産者価格」＋「運輸マージン」＋「商業マージン」**

という関係があります。工場で生産された品物は生産者価格で出荷されますが、消費者はこれに輸送費と小売等のマージンが上乘せされた購入者価格で買うことになります。

「フローチャート」シートを見てみましょう。

参加者の消費

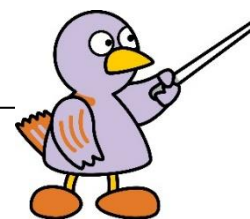


まず参加者の消費を「県内産」76,141千円と「県外産」13,859千円に分けました。

これは「購入者価格」で分けたものです。

しかし「県外産」とした品物でも、県内業者が輸送し、県内小売業者を通して消費者が購入する場合があります。この時に県内業者が手にするマージン分を別途計算し、これを加算して直接効果を80,015千円としています。

(※100%県内産の場合は、運輸・商業マージンも100%県内産として計算しています)



埼玉県マスコット「コバトン」

**Q 2.** 報告書の下のように「県民所得係数」「消費転換係数」と書いてありますが、これは何ですか？

**A 2.**

- ・ 「県民所得係数」：生産誘発により雇用者所得が増加した時、ここには県外に住んでいる雇用者の所得も含まれています。「県民所得係数」はこれを取り除くための係数です。  
(県内に住んでいる雇用者が県内で消費するとみなすため)
- ・ 「消費転換係数」：雇用者はもらった所得を全額消費するとはかぎりません。所得のうち消費に回る額を計算するための係数が「消費転換係数」です。



埼玉県マスコット  
「コバトン」